

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	木曾川 ^{きそがわ}	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	中津川市ほか5市1町 ^{なかつがわ}
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岐阜県の南東部に位置し、中津川市、恵那市^{えな}、瑞浪市^{みずなみ}、土岐市^{とぎ}、多治見市^{たじみ}、可児市^{かに}、御嵩町^{みたけ}の6市1町から構成されている。</p> <p>本地区の総面積171千haのうち、森林面積は124千ha（森林率73%）、対象民有林は102千ha（森林全体の83%）、うち人工林は57千ha（人工林率56%）となっている。</p> <p>民有林面積のうち、本地区の樹種別面積はスギが8千ha（7.7%）、ヒノキが43千ha（43.7%）と、県全体（スギ：16.4%、ヒノキ：27.4%）と比較するとヒノキの割合が高くなっている。また、本地区の天然林は割合41%を占め、県全体の53%に比べて低いことも特徴である。計画区の人工林は13齢級をピークとした構成となっており、適期の森林整備が求められている。</p> <p>本地区も全国の状況と同様に森林技術者の減少等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林がもつ国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮が不十分となっている可能性がある。一方、近年県内で整備されている合板工場や大型製材工場、木質バイオマス発電所の稼働により、県内の木材需要が増大し、本地域においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への期待が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえて、本地区では、木曾川地域森林計画に基づき、より効率的に施策を実施するための基盤整備や、高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業体による集約化された計画的な森林施策を促進しているところである。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,890ha 人工造林、下刈、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：1,343m 林道開設</p> <p>総事業費：4,610,734千円（税抜き4,191,577千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.52 （総便益（B）＝ 17,418,708千円、総費用（C）＝ 4,950,680千円）</p>

評価結果	<p>必要性：林業が盛んな地域であり、生産された優良材を地域に安定供給することにより林業・木材産業の振興に寄与している。また、適正な保育により、森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られるため、主伐後の更新や間伐、搬出等に伴う路網整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な保育の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、優良材を安定的に生産し、また森林の持つ公益的機能を維持してより高度に発揮されることになるため、有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域(地区)名：木曾川^{きそがわ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,681,942	
	流域貯水便益	881,200	
	水質浄化便益	3,334,220	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,113,469	
環境保全便益	炭素固定便益	5,635,635	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,629,545	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	1,378	
	森林整備促進便益	141,319	
総 便 益 (B)		17,418,708	
総 費 用 (C)		4,950,680	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,418,708}{4,950,680} = 3.52$		

森林環境保全整備事業 木曾川流域(岐阜県)

